

9月22（月） 第12期 需要創出・啓発委員会
既存事業啓発 小委員会
第2回委員会 15：00～17：00 議事録

2025年9月25日 JBA 事務所

出席者：小野副委員長、高橋委員長、茂木、田中（大）、事務局
WEB：なし 欠席者：河合、田中（章） （敬称略）

お願い①-1 ロマンズ小さま HP 内に HC 認定家具ランディングページ作成依頼

⇒ロマンズ高橋委員：自社 HP 掲載は 25 年 10 月いっぱいまでかかる。

お願い①-2 昭和西川さまにて HC 認定寝具へのエントリーの依頼

⇒確認中

お願い② HC マークの HP 掲載上の注意点の纏め

⇒JBA のマーク左、経産省のマーク右 商品には経産省のマークの付与は不可

小野委員より、まくら様へ掲載フォーム作成を依頼⇒これに従って各社 HP への掲載をお願い

お願い③ SBI 試験のラフ案依頼

⇒西川 田中委員より下記案の提示

学科試験

- 過去問をベースに作成
- 「寝具編」「睡眠編」双方から出題
- ひっかけ問題は出題しない

実技試験

- 「寝具編」「睡眠編」双方から出題
- 場面を設定し、接客・提案方法を問う形式

問題例（抜粋）

- 敷き寝具・まくら選びの適切/不適切な説明
- 睡眠の役割やサイクルに関する理解
- 寝室環境や羽毛布団の知識確認

懸念点

- 実技試験の場面設定が単調化しやすい
- 「寝具編」と「睡眠編」で難易度差が生じる可能性
- テキスト・動画・試験を連動させる工夫が必要

- 試験時間・問題数・正答率など実施条件のシミュレーションが必要

その他

学科と実技（筆記）の問題設定の課題

- 睡眠編は専門用語が多く難易度が高い
- 合格率を上げるため、寝具編・睡眠編の統合が理想
- 実技（筆記）はロールプレイ形式ではなく、形式設計が課題
- 実技（筆記）の合否判定基準を明確にする必要
- 下級資格は販売スタッフも対象とするため、販売直結の内容が望ましい
- 問題作成はノウハウを持つ西川様に依頼したい
- 実技は生活者のお困りごとに基づく接客方法を問う形式が適切
- 基礎知識・応用力・判断力の定義を明確にし、難易度をバランスよく設計
- ケーススタディの収集・類型化が必要

上級資格と下級資格の設定の課題

- 下級資格は取得の入り口として必要
- 上級資格は既存 SBI を想定、下級資格は内容・判定・受験料の面で間口を広く設定
- 下級資格から上級資格へのステップアップ意欲を喚起する仕組みが必要
- 下級資格は受験料を低く設定し、上級受験料の割引制度を導入
- レベルごとの知識・能力・経験の明確な差別化が必要
- 公正な評価基準を整備
- 資格の陳腐化を防ぎ、継続的な学びを促す仕組みが必要
- 社会的価値と認知度の向上が課題

厚労省認定に向けてのその他の課題（睡眠環境学会との協業）

- 厚労省認定となった場合、既取得者の移行措置を検討
- 睡眠環境学会は専門性が高すぎる部分があるため、中和的な調整が必要
- 既存資格・制度との差別化と連携が重要
- なぜこの資格が必要なのかを社会的に示し、重複を避けることが必要
- 厚生労働省に向けては既存資格を上級とし、学科、実技の整備を行い、認定取得する方向で進めたい。

*** 10月2日の需要創出・啓発委員会では、高橋委員より委員会活動の報告をお願いします。**

以上